

元祖 石川書店

明日休みなので、今日行きます。

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書日より

MSTに橋本愛が来てお祝い。
よかったです。FIRST TAKEの
13ページほど

第80話 R03.02.22(月)
「誰かが決めた正しさに
合わせる必要はない。」

★今回、紹介する本は、『自由への手紙』(語り/オードリー・タン、編/クーリエ・ジャポン編集チーム、出版/講談社)。

台湾の史上最年少のIT担当大臣であるオードリー・タンさんが、「自由」というテーマで語りつくした1冊。とても読みやすいです。

トランスジェンダーであることを公表したり、コロナ対応ではマスク在庫がリアルタイムでわかる「マスクマップ」というアプリを取り入れたりー。

そんな著者が、新しい時代を生きるために大切なことを伝えながら、希望を与えられるような内容です。「人は一人一人違うし、その違いはカテゴリー分けできるものではなく、境界もない」という考えがすてきです。変化する世の中を楽しみながら、歩み続ける姿は、附中生にも共感できるところが多いのでは。ぜひ。



オードリー・タンさんの本は今読んでみるよ。



違いがあるとしても、
全員にわかり合えない
だから共通な価値観
★ があることを知ることが
大事だと思います。

水になれ。
(p.124)

★ やぱり、
自分で
考える。

右利きでもいい。左利きでもいい。
誰かが決めた「正しさ」に
合わせるのは、過去の話。
(p.17)

どちらでもあるし、どちら
の側にもなれる。
どちらも尊重する
ではなく、全てが
尊重される。
(p.81)